



発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

令和二年度 思いやりの活動方針決まる
(代議員会は新型コロナウイルス感染防止のため開催中止)

令和二年度の代議員会を、四月二十六日（日）開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、安全を最優先するため開催を中止、代替として代議員会資料を代議員に配布、内容確認のうえ「書面による承認」を提出いただくことにしました。
提出者全員から可とする承認を得、中央支部規約第一二条（六）項に基づき事務局提案通り承認されました。

ごあいさつ

支部長 入江 廣

皆様には、日頃より中央支部活動に温かいご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。

さて、本年度は新型コロナウイルス影響の中でスタートとなりました。皆様も感染防止対策に苦心をされていることと思います。中央支部においても活動中止の状況でしたが、六月八日から人数制限がある中で、活動が再開出来るようになり、段階的に各事業を進めてまいります。

また、今年度は七月から八月末まで会員会費募集の月となります。皆様にはご負担をお願いすることになります。地域福祉の推進と支部活動向上のために大切な支部の財源となりますので、ご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

おわりに、支部役員一同一致協力して、支部活動の向上に取り組む所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

◎活動の重点目標と事業内容

(一) 活動資金の確保

○会員会費の募集（七月）

○福祉バザー（十月）

(二) 高齢者福祉活動の推進

○しあわせサロン散策 ※

（五月に二班に分けて実施）

○しあわせサロン会食会 ※

（手打ちそば十二月）

○配食サービス ※

（毎月一回、十二月を除く）

○高齢者親善交流会（十月）

（グラウンドゴルフ、輪投げ）

○敬老会の支援協力

(三) 地域福祉活動の推進

○福祉センター「たけのこ」の活動を支援

(四) 三世代交流の推進

○各行政区で実施される三世代交流会の支援

(五) 研修会の実施

○支部委員・福祉推進員・むつ

(六) 広報活動の推進

○支部だより年三回発行

※ 四・五・六月の行事は、

新型コロナウイルスの関係で中止いたしました。



み会員・広報委員を対象にした視察研修 ※

○女性部員の視察研修

○普通救命講習会の実施

令和二年度 支部役員紹介

支部長 入江 廣

副支部長 井坂 フヂエ

副支部長 荒張 晴夫

副支部長 福島 和彦

会計 栗股 克巳

会計監査 高野 康司

会計監査 藤枝 正一

令和2年度 予算書

【収入の部】

単位：円

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	444,536	
会員会費還元金	950,000	市社協より
助成金	140,000	市社協より 福祉コミュニティ 50,000 広報助成金 90,000
バザー売上金	300,000	
事業参加費	120,000	しあわせサロン散策・支部委員研修等
配食弁当代	115,000	
雑収入	464	利息 他
合計	2,070,000	

【支出の部】

単位：円

科 目	予算額	摘 要
会議費	50,000	支部委員会・代議員会
事務局費	40,000	
事務通信費	10,000	事務用品
事業費	1,540,000	会費地区還元金・三世代交流 グランドゴルフ・輪投げ 配食サービス・しあわせサロン 広報誌発行 その他
バザー開催費	180,000	バザー開催諸経費
研修費	100,000	支部委員・福祉推進員 むつみ会・広報委員・女性部
予備費	150,000	
合計	2,070,000	

令和元年度 決算報告書

【収入の部】

単位：円

科 目	決算額	摘 要
前年度繰越金	335,721	
会員会費還元金	923,700	市社協より
助成金	142,370	市社協より 福祉コミュニティ 50,000 広報助成金 92,370
バザー売上金	344,450	ふるさと祭り
雑収入	235,905	配食関係他
繰入金	0	
合計	1,982,146	

【支出の部】

単位：円

科 目	決算額	摘 要
会議費	40,002	お茶代
事務局費	12,785	
事務通信費	8,940	事務用品
事業費	1,315,524	会費地区還元金 452,000 三世代交流助成 40,000 グランドゴルフ・輪投 51,455 配食サービス 461,101 広報誌発行 151,380 その他
バザー開催費	117,047	
研修費	43,312	支部委員・福祉推進員・女性部 等研修
予備費	0	
合計	1,537,610	

令和2年度 支部委員・福祉推進員名簿

支部長	入江 廣	(大沢中3)	推進員	常井 孝之	(当の越1)
副支部長	荒張 晴夫	(緑町3)	同	須藤千代子	同
同	福島 和彦	(桜 町)	同	大平 博	(当の越2)
同	井坂フヂエ	(青葉町)	同	阿久津裕子	同
会 計	栗股 克巳	(東町3)	同	武藤 裕子	同
会計監査	高野 康司	(桜 町)	同	上島 武男	同
同	藤枝 正一	(東町4)	同	長谷川悦子	同
支部委員	友部 庄一	(東町1)	同	秋山 文江	(友部栄町)
同	青木 義光	(東町2)	同	永堀 昌子	同
同	栗股 克巳	(東町3)	同	加藤 文子	同
同	伊橋 龍介	(東町4)	同	細谷 久子	(緑町1)
同	荒川 昌之	(仲 町)	同	山本 聡	同
同	成田 裕三	(南 町)	同	高橋 寛	同
同	富田 英明	(西町1)	同	谷津 恵子	(緑町2)
同	赤尾杉友一	(西町2)	同	岩波喜代美	同
同	下条 立美	(桜 町)	同	大島 真澄	同
同	井川 征雄	(当の越1)	同	番場みち子	同
同	仲見川國夫	(当の越2)	同	小沼 英子	同
同	藤井 祥一	(友部栄町)	同	上野 富枝	(緑町3)
同	郡司 正明	(緑町1)	同	大森 実	同
同	友水 邦彦	(緑町2)	同	海老澤信義	同
同	森山 隆	(緑町3)	同	矢萩 恵子	同
同	岩井 浩	(美原団地)	同	植草 親子	同
同	石川 武次	(青葉町)	同	荒張 晴夫	同
同	中村 誠	(大沢中1)	同	大島あゆみ	(美原団地)
同	今野 拓	(大沢中2)	同	菊池 陽子	同
同	入江 廣	(大沢中3)	同	仁平タカエ	同
同	松原 和雄	(幸 町)	同	森 由美子	同
推進員	川上 久夫	(東町1)	同	小池 博	(青葉町)
同	齊藤よしの	同	同	渡辺 章俊	同
同	石井 政義	同	同	砂川 公寿	同
同	萩野谷雅彦	同	同	高橋 彰	同
同	青木 重子	(東町2)	同	成田 博明	同
同	友部 敏江	同	同	深澤 昌人	同
同	上原 仁子	同	同	白田 静夫	同
同	本橋 和朗	(東町3)	同	藤木 幸夫	同
同	森 修	同	同	井坂フヂエ	同
同	谷中 竜一	同	同	水越 健二	(大沢中1)
同	塙 浩助	同	同	水越 愛子	同
同	猪狩 巧	(東町4)	同	中村美千代	同
同	根矢 保男	同	同	沼田美穂子	同
同	伊藤 修二	同	同	入 清	(大沢中2)
同	佐川 国則	同	同	遠藤 定雄	同
同	国井 貞義	同	同	小園江節子	同
同	田家はるみ	同	同	渡沼 武	同
同	植木 努	同	同	多川英久雄	同
同	伊橋 理代	同	同	山田 茂	(大沢中3)
同	村上さよ子	(南 町)	同	阿部 進	同
同	坂本奈央子	同	同	檜山 寿子	同
同	福田 紀子	同	同	小野瀬和男	同
同	富田紀久江	(西町1)	同	武類 光子	同
同	櫻井三枝子	同	同	原田 一昭	同
同	横倉 きん	(西町2)	同	大槻 圭	同
同	神崎 昭子	同	同	若色 悦子	同
同	鶴田 弘司	(桜 町)	同	福田 溪	同
同	高安 たみ	同	同	大山 博司	同
同	福島 和彦	同	同	高田 眞弓	同
同	菅谷 正子	同	同	菅原 宗義	(幸 町)
同	遠西 史和	同	同	阿久津一典	同
同	飯嶋 俊彦	同	同	興津 正一	同
同	高野 康司	同	同	谷田部宏子	同
同	國谷 順子	(当の越1)	同	塚越 一雄	同
同	菊池 教子	同	同	鈴木 征夫	同

女性部の活動について

部長 井坂 フヂエ

中央支部の皆様、お元気で過ごしてでしょうか。

私達女性部は、支部活動に協力する為、皆笑顔で頑張っております。

四月二十六日に、予定されていた女性部総会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました。

毎月、対象者の方が「中央支部のお弁当美味しいよ」と楽しみにしてくださっている配食も、四月～六月中止とさせて頂きました。

新型コロナウイルスは、まだ終息には至っておりませんが、七月十七日から配食を始めたいと計画しております。

調理室の使用時間、調理者の人数の制限があります。今迄のようなお弁当を作る事は難しいですが、何とか工夫しながら、待って下さっている皆様に、むつみ会の方とお弁当を

お届けしたいと思っております。

今年は中止となりましたが、しあわせサロンもまたご一緒させて頂きたいと楽しみにしております。

女性部員一同、地域の皆様に喜んで頂ける活動と、笑顔でお会い出来るよう、新型コロナウイルスの終息を待ち望んでおります。



女性部役員紹介

部長	井坂 フヂエ
副部長	松岡 和枝
副部長	高田 眞弓
副部長	青木 重子

《みんなで守ろうコロナ対策》

“自分のため みんなのため そして大切な人のために”

* 3密を避ける



* 手洗いをする
外出先からの
帰宅時や調理
の前後、食事
前など

* マスクを着用する
鼻や頬のところに隙間をあけない



あとがき

今年の夏はコロナと共存を強いられ、例年になく暑い夏となりそうです。

感染予防のため健康管理を徹底し、一日も早くコロナの消滅を願いたいと思います。

さて、今回の「中央支部だより」は、前年度決算・新年度予算・活動の重点目標・新役員の紹介等を中心に掲載致しました。

今後とも支部への活動にご理解とご協力をお願い致します。

(横堀)

